

自立支援センターおひさま 火災避難訓練計画

1. 目的

火災を想定した避難訓練を実施し、職員、子供の防災意識を高める。また、事前の指導によって子供がパニックを起こさず、スムーズに避難を行えるようにする。

2. 実施日

平成31年4月8日（月）

3. 参加者

職員：5名

児童：12名

避難場所：おひさま職員駐車場

4. 指導計画

	指導	支援・配慮・その他留意事項
事前指導	・火災が発生した際の逃げ方や注意事項を説明する。	・「おさない、かけない、しゃべらない、もどらない」のルールを、イラストを使って具体的に説明する。 ・言葉での理解が難しい子供に対しては、個別に分かりやすく指導を行う。
避難訓練	・給湯室より火災発生を職員が確認し、療育室窓より避難を行う。	・職員割り振り 火災発見・通報： 初期消火： 避難誘導・点呼： 子どもの安全報告： ・避難後は、施設建物に背を向けて座らせ、火事の様子が直接見えないように配慮する。
事後指導	・全体で振り返りを行う。	・感想や怖かったことなどを発表させ、配慮点の汲み取りを行う。

5. 反省・課題・対策

所感	子どもの様子
ルールを事前に提示したが、訓練の際に集中できない子がいたので配慮が必要であった。優先順位の確認をすべきであった。事前周知していたので訓練はスムーズにできていた。	訓練ということもあり、上靴や靴下で外に出るのを嫌がる素振りを見せる子もいた。興奮し、喋ったりルールを守れていない場面があった。質問の中に荷物はどうするんですか？という質問があり、優先順位がまだ理解できていない部分があった。点呼や移設外に出るのはスムーズだった。